

渡辺 大介 (20)

種 目：スノーボードクロス

所 属：北翔大学スキー部

出身校：西小学校、倶知安中学校



古谷 沙理 (23)

種 目：バイアスロン

所 属：陸上自衛隊冬季戦技教育隊

出身校：北陽小学校、倶知安中学校

ソチオリンピックを目指す 倶知安アスリートたち

早くも来年の2月に迫ったソチオリンピック。いま日本中のアスリートたちが、オリンピック出場の権利を獲得すべく練習に励んでいます。そんなアスリートたちの中で一際輝く4人の倶知安出身アスリートに、競技への想い、地元での思い出、ソチへの意気込みなどについて聴いてきました。今回の特集では、4人の倶知安アスリートのインタビューをご紹介します。4人とも倶知安が誇る山や雪で練習をしながら育ち、今や世界の第一線で活躍する人たちです。この4人全員がソチオリンピックへの出場権を獲得し、ソチの舞台において大活躍することを願い、町全体で応援していきましょう！

吉川 空 (23)

種 目：フリースタイルモーグル

所 属：フリー

出身校：西小樺山分校、倶知安中学校



大越 龍之介 (24)

種 目：アルペンスキー

所 属：株東急リゾートサービス

出身校：西小学校、倶知安中学校



渡辺 大介 選手

―競技を始めたきっかけを教えてください。
スノーボードを始めたのは5歳くらいの時です。もっと小さい頃から、スキーはやっていました。母親とゲレンデに行ったときに、スノーボードで滑っている人を見て、「やってみたい」と思ったのがきっかけです。競技は高校くらいから始めました。それまでは草大会とかには出てましたが、楽しむことが優先でした。

―世界（五輪）を意識するようになったのは、いつごろですか？

高校3年生の時、ジュニアの世界選手権で日本代表として出場しました。その時初めて海外に行って、トップクラスの世界を「すごい」と感じて、そこから意識するようになった。

―いくつかあるスノーボード競技の中からスノーボードクロスを選んだのは何故ですか？

北海道でスノーボードの草大会となると、クロスしかありませんでした。ニセコで滑っている有名な人もほとんどクロスをやっていて、そういう影響もあったと思います。見ていてすごく楽しい競技だと感じました。駆け引きや作戦があって、見てい

る人も、やっている人も楽しい競技に魅力を感じました。

―倶知安における競技の思い出は何ですか？
倶知安の山は環境も良く、起伏も激しくコースも多様です。レース向きではないかもしれませんが、楽しむという点においてはベストだと思っています。倶知安の山で楽しく滑れたことには感謝していますし、いい思い出です。

―選手として一番大切にしている事を教えてください。

大きな夢をもつことです。自分のなりたてい姿を思い描けば、そのために頑張っていける気がします。今自分が抱いている夢は、オリンピックに出て、みんなが知る存在になることです。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

スノーボードでのオリンピック出場は、ハーフパイプで出場した中井選手以降出ていません。まずは2人目の倶知安出身選手として出場を目指して、毎日トレーニングをしています。世界の舞台に行つて、倶知安の町を盛り上げていきたいです。競技をやっている人、応援してくれる人、応援してくれる人がいる。

―どうしてモーグルをやっているのかという根本のところを考えると、一人で取る金メダルもつまらないな、と思うようになりまし

も、実際はそうじゃない。サポートしてくれる人、応援してくれる人がいる。どうしてモーグルをやっているのかという根本のところを考えると、一人で取る金メダルもつまらないな、と思うようになりまし

た時に、「いくつか自分も出たい」という憧れを抱きました。そんな時に、ニセコ花園レーシングチームに誘われたのが、競技を始めたきっかけです。

―世界（五輪）を意識するようになったのは、いつごろからですか？
中学校2年生の時の全国大会で優勝した時です。自分では優勝を狙える段階ではないと思っていたのですが、得意な条件が揃って優勝できました。そこから、ナショナルチームだ、世界だ、と周りの方々が盛り上げてくれました。それまでは楽しくスキーをしていただけでしたが、周りの声を聴いて、世界を目指すようになりました。

―競技をやっている、一番の思い出は何ですか？
高校3年生の時に、インターハイで回転、大回転の2種目で優勝できたことです。高校3年間を通じて、回転、大回転の2種目において4勝を挙げた選手は、僕が初めてなんです。それまでは3勝した選手はいましたが、4勝は史上初。4勝目がかかった回転競技の前には、プレッシャーもありま



吉川 空 選手

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

本心に、安心してソチ五輪を見ていてください。感動と金メダルをお約束します。



―クロカンを始めたいきっかけと、バイアスロンに転向した理由を教えてください。
クロスカントリーは小3から始めました。北陽小学校に少年団があり、兄や友達もやっていた、面白そうだと思ったのがきっかけでした。

バイアスロンには前から興味がありました。バイアスロンは射撃という新しい要素も加わり、最後まで何が起きるか分からないという点に魅力を感じました。またゼロから始めるということで、自分のモチベーションを高め直すことができたこともあって、バイアスロンへの転向を決めました。

―世界（五輪）を意識するようになったのは、いつごろですか？

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―競技をやっている、一番の思い出は何ですか？

中学の全国大会で優勝できたことです。親やスタッフの方が喜んでくれました。自分が誰かの喜びのきっかけになれることをその時知りました。それが今も競技を続けている原動力になっています。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。



古谷 沙理 選手

―倶知安における競技の思い出は何ですか？
小・中・高と10年間倶知安でスキーをやってきたことです。高校からは強豪校に行つてしまふ選手が多いんですが、私は倶知安で10年間地域の方々にお世話になって、仲間たちと試行錯誤しながらやってこれたことが一番の思い出です。

―競技で一番大切にしている事を教えてください。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。

―最後に、倶知安で応援している皆さんにメッセージをお願いします。



大越 龍之介 選手